

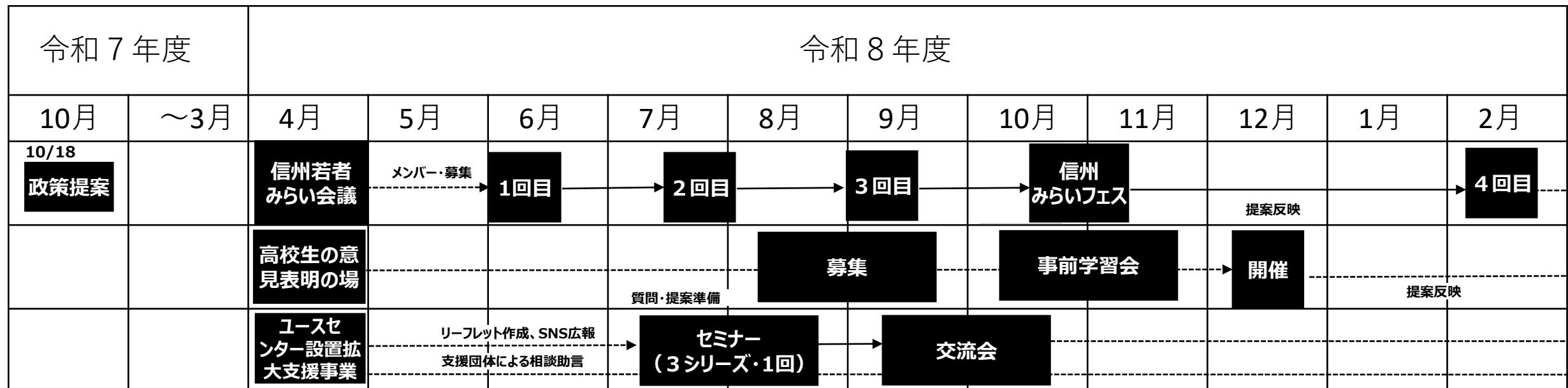
# R8若者交流・社会参画促進事業 実施イメージ

【R8の狙い】

- ①ユースカウンシル（信州若者協議会（仮））の設立に向けた制度設計と機運醸成
- ②若者の行政・企業等への影響力を高めていく。
- ③市町村へのユースセンター設置の機運醸成

【目指す姿】

- ①ユースカウンシル（信州若者協議会（仮））設立（R9）
- ②若者活動支援事業（補助金）の創設
- ③県内（市町村及び民間）のユースセンター設置数の増加



## ○信州若者みらい会議（人数無制限）

共通テーマとしてユースカウンシル設立に向けた議論をメインに実施。有志等が各々チームを結成し、みらいフェスに向けて政策提案を検討する。

- 【1回目】顔合わせ・若者の課題共有・なぜ場が必要なのか
- 【2回目】模擬提案・継続設計を議論
- 【3回目】設立形態・運営方法を議論（若者活動補助金）
- 【4回目】令和9年度以降の動き・役割整理

## ○高校生の意見表明の場（県内の高校生30～40人）

▶ 高校生が県に対して、事前学習の結果や要望などの意見を表明できる場を設定する

## ○ユースセンター設置拡大支援事業

▶ ユースワーカー交流会やユースセンター設立・起業セミナー、広報リーフレット等による情報発信

## 信州みらいフェス（全1回）参加者150人程度 @県内

○ユースカウンシル設立に向けた宣言および県、市町村、企業等への政策提案や活動発表する場として開催

### 【変更点】

- ・有志による政策提案だけではなく、県内の若者の取組の発表の場とする。（部活動や高校生の探究学習の発表等）
- ・R9年度からのユースカウンシル設立に向けた宣言。

### 【長期的な方針】

- ▶ ユースカウンシルは数年かけて、若者たちで自走できるよう支援
- ▶ 市町村や団体へユースセンターの設置を促進し、県内の裾野を広げる